

## 評価委員会議事録

### 第42回高松矯正管区教誨師研修大会

1 日 時 平成27年7月8日(水) 11時52時から午後零時18分まで

2 場 所 サザンシティホテル 3階 ガーデンホール

#### 3 出席者

##### (1) 教誨師関係

高松矯正管区教誨師連盟会長	長尾 恵 證
高松矯正管区教誨師連盟事務局長	田村 正 教
高松矯正管区教誨師連盟事務局員	堀江 孝 一
徳島県教誨師会会長	西村 宗 純
愛媛県教誨師会会長	松本 信 見
高知県教誨師会会長	長谷川 隆 嶽
高知県教誨師会副会長	藤山 憲 二
高松刑務所教誨師会会長	北嶋 眞二郎

##### (2) 外部関係職員

高松矯正管区第二部長	本田 宏 氏
高松矯正管区成人矯正第二課長	坂本 和 総 氏
高松矯正管区成人矯正第二課事務官	佐伯 拓 也 氏

#### 4 議事内容(要旨)

##### (1) 研修全般について

- ・ 講演がよかった。講師の情熱や思いが伝わってきた。講演内容もテーマに沿っていた。
- ・ 分科会は参加者全員が発言する機会があったのでよかったが、その分時間が足りなかった。
- ・ 分科会はパネルディスカッション方式でもよいのではないかと意見があり、検討しても良いのではないかと。
- ・ 分科会のテーマは「依存からの脱却について」であったが、薬物依存に対する知識がなかったので、薬物依存の被収容者に対してどのように接すればよいのかわからなかった。今後、医師やダルク経験者などの話を聞いて、薬物依存についての現状を知りたいと思った。そうすれば、相手をもっと理解でき、教誨が進むのではないかと思われた。
- ・ 研修大会は、知識や技能の習得だけではなく、教誨師相互の交流の機会としても重要である。

##### (2) 研修大会の成果

高松矯正管内の教誨師が一堂に会し、教誨師の指導技術等を向上を図るとともに、見識を深めるものとして重要かつ貴重な機会であることを再認識した。

アンケートの回答等から本研修大会は、満足度の高い研修であったことが伺われた。研修の成果として、充実した教誨活動が実践されることで、被収容者

一人一人の再犯・再非行の防止につながっていくことが期待される。

教誨師の指導技術の向上及び研さんのため、今後も研修大会を安定かつ継続的に開催できるように努めていく必要がある。